

259年の伝統受け継ぐ市の無形民俗文化財
金沢地区に伝わる壮大な歴史絵巻

金沢大名行列(実行委主催)は9月13日、花泉町金沢地区で行われました。行列は、内沢集落に祭られていた鎮守八幡宮が焼失し、遷宮の際に氏子らが大名行列の様式で、ご神体を守りながら行進したのが始まりと言われています。

ほら貝を先頭に、内沢集落の住民が露払いやっこ、金沢小の児童が鉄砲隊などに扮し、総勢約400人が同地区の同神社を出発。片道約600mを堂々と往復しました。

孫の愛理ちゃん(4つ)と見物していた加藤邦子さん(67)は「手踊りパレードに参加しました。元気な子供たちがたくさん参加しているので活気がありますね」と笑顔を見せました。



桜まつわる資料と写真約130点を展示
65年の磐井川・桜の歴史に思いをはせる

いわいの桜展実行委員会が主催する「いわいの桜あゆみ展」は9月7日～17日、なのはなプラザで開かれ、約600人が磐井川の桜がつむいだ65年の歴史に思いをはせました。

会場には、磐井川堤防の桜に関する本、新聞記事や市広報などの資料約80点と市民から寄せられた写真約50点を展示。65年前、山目小の代表として桜を植樹したという石川和代さん(76・真柴)は「写真を改めて見ると、たくさんの思い出がよみがえってきます。桜がなくなるのは寂しいですね」と話し、写真に見入っていました。

磐井川堤防の桜は、堤防工事に伴い年度内に伐採されます。



市民と研究者が科学について気軽に語り合うサイエンスカフェ
KEKの研究者に学ぶ「ILCの意義」

「いちのせきサイエンスカフェ」の第2回講座は9月12日、一関図書館で開かれ、市民20人が国際リニアコライダー(ILC)の意義などについて理解を深めました。

講師は、高エネルギー加速器研究機構(KEK)素粒子原子核研究所講師の藤本順平さん。藤本さんは「素粒子物理学の研究は、今までヨーロッパやアメリカが世界をリードしてきた。ILCが日本にできれば、日本が研究先進国になる」と話し、ILCの早期実現に期待しました。KEK研修にも参加した千葉優さん(花泉中3年)は「研修で学んだ知識を深められました。将来は、ILCに貢献できるような仕事をしたいです」と話してくれました。



古き良き古民家で味わう「手作りのぬくもり」
ほろはの家で「古民家マルシェ」大盛況

ハンドメイド作家などが作品の展示・販売を行う「古民家マルシェ」は9月12、13の両日、藤沢町保呂羽のほろはの家で開かれ、訪れた600人が古民家と手作り作品の魅力に浸りました。

第2回の開催になる今回は、県内外からハンドメイド作家や菓子店など23店が出店。会場には、作家たち自慢の雑貨や菓子などが所狭しと並び、来場者はこだわりの作品や味を楽しんでいました。主催者の菊地三千代さん(49)と伊東京子さん(47)は「古民家の良さや藤沢地域の美しい風景を知りきっかけに、と始めた企画。ハンドメイド作家との交流と藤沢地域の魅力を堪能してほしい」と話してくれました。

ハーモニカとアルパの音色が狛鼻溪に初秋の訪れ告げる
ジブリ音楽を楽しむ「十六夜コンサート」

狛鼻溪の名勝指定90周年を記念した「第24回舟上十六夜コンサート」は9月11日、ひがしやま観光ホテルで行われ、参加者らは会場に響く美しい音色に聞き入っていました。

前日からの大雨で船上での演奏は中止になり、会場をホテルに移して行われました。演奏者は、ハーモニカ奏者の大竹英二さんとアルパ奏者の藤枝貴子さん。「狛鼻溪に木霊するジブリの世界」と題し、ジブリ映画のテーマなど全15曲を披露しました。大東町の門馬弘子さん(60)は「アルパのやさしい音色にうっとり。室内のコンサートを満喫できました」とっこり。参加者は、演奏者の高い技術や美しい音色を間近で楽しんでいました。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 いわて
がん患者とその支援者の願いを込め開催

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 いわて」は9月12、13の両日、一関遊水地記念緑地公園で行われ、市内外から参加した45団体1500人ががんになけない社会を願いました。

同イベントは、がん征圧を目指すがん患者と支援者らが、24時間交代で歩きながら勇気と希望を分かち合うチャリティイベント。皆川和子実行委員長(67)は「がんは治る時代の夜明けを向かえています。イベントを通し、命の大切さとがん検診・早期発見の重要性を伝えたい」と力を込めました。

寄せられた寄付金は約200万円。医師の育成や新薬の開発など、がん医療の発展に役立てられます。



骨寺村荘園交流館で来館10万人達成記念セレモニー
今までの歩みを振り返り、節目祝う

2011年7月にオープンした骨寺村荘園遺跡のガイダンス施設「骨寺村荘園交流館」は8月29日、入館者数10万人を達成しました。記念すべき10万人目の来場者は安倍悠記さん(31)。同館の五十嵐正一館長、市教育委員会の小菅正晴教育長らとセレモニーを行い、節目を祝いました。

五十嵐館長は「入館者数は、認知度などを示すひとつの目安。10万人達成が、地域の励みになればうれしい。ますます利用される施設を目指したい」とっこり。安倍さんは「食事がおいしいので、昼食時などに利用しています。これからも利用したい」と話してくれました。



情感あふれる朗読が会場を一つに
絵本の魅力に触れ世代間が交流するライブ

しげちゃん一座ファミリー絵本ライブ(同実行委主催)は9月5日、千厩町の奥玉市民センター「千厩維新館」で開かれ、参加者350人が女優・室井滋さんの情感たっぷりの朗読などを楽しみました。

同一座の公演は、県内初。室井さんはピアノやサクソスなどの演奏に合わせて、6冊の絵本を朗読。軽妙で情感のこもった語り口に合わせ、会場からは手拍子も巻き起こりました。

盛岡市から長女の千帆ちゃん(4つ)と訪れた掛田友幸さん(36)は、「絵本の魅力は、物語から力をもたらること。とても楽しいイベントでした」と満足した様子でした。